

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年3月24日（火）

2 確認箇所

3号機タービン建屋

3 確認項目

タービン建屋内炉注水ポンプの状況

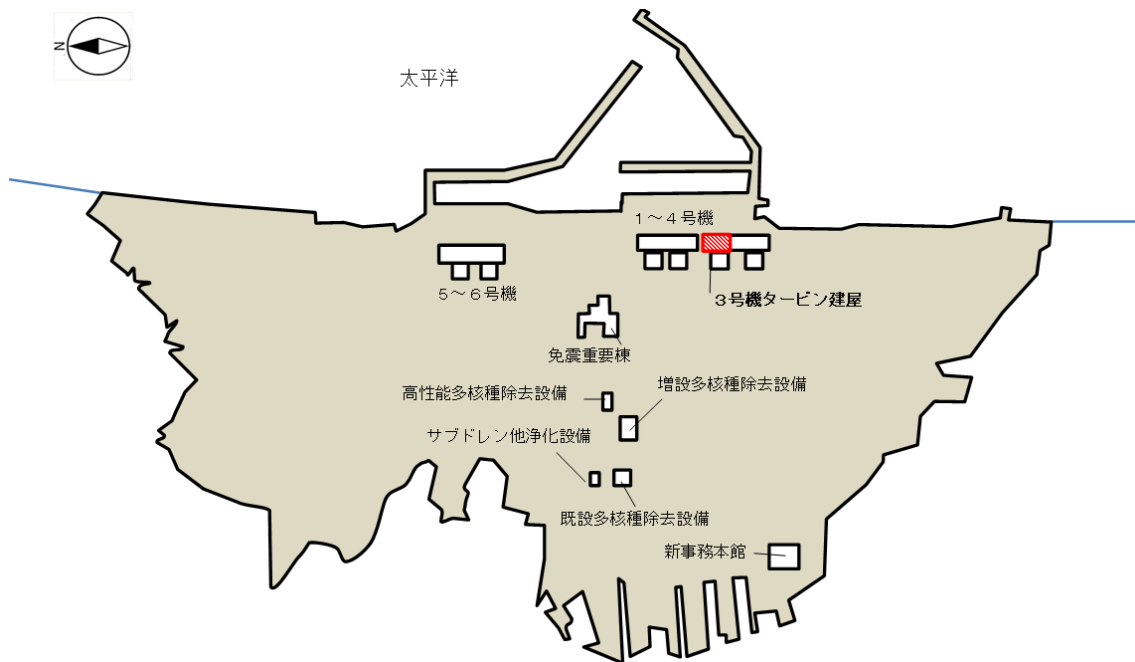
4 確認結果の概要

原子炉注水設備は、原子炉での崩壊熱を除去することを目的に設置されており、常用3系統、非常用2系統で構成されている。

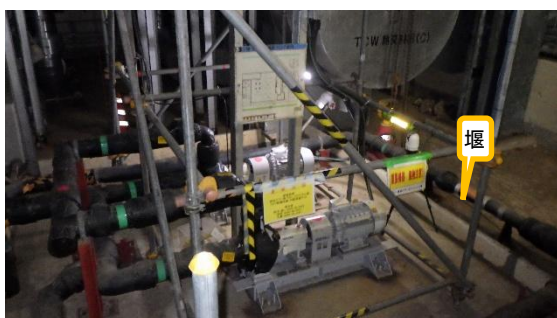
系統は主にタンク、注水ポンプ、配管で構成されるが、機器の故障等による機能喪失を防止するために、それぞれで多重化が図られている。

今回は、これら原子炉注水設備常用3系統のうち、3号機のタービン建屋に設置されている、タービン建屋内炉注水ポンプ及びその周辺状況について確認した。（前回確認：[令和4年11月21日](#)）

- ・ポンプは2系統で構成され、周辺は堰に囲まれていた。（写真1）
- ・ポンプ付近には流量計が設置され、Webカメラによる確認ができる状態であった。（写真2）
- ・確認した範囲では、ポンプ及び配管からの水漏れ等の異常はなく、設備の劣化も確認されなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
建屋内炉注水ポンプの状況



(写真2)
流量計の監視状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。